

外来魚駆除大会と天気

竹中 景亮(一般参加)

私は、2016 年に「琵琶湖を戻す会」の存在を知りました。

戻す会の存在を知る前の 2013 年から、度々琵琶湖に出かけては多くのブラックバス、ブルーギルを釣り上げており、微力ながら琵琶湖を有るべき姿に戻せるよう貢献してきました。

2017 年より、本格的に外来魚駆除大会に参加させていただき

時に大型のブラックバスを釣り上げて、大会を盛り上げる事に一役買ったと自負しております。

ここで 1 つ疑問に思ったことがあります。

外来魚駆除大会では、主にミミズをエサに家族連れの方々が釣り上げるのですが毎回毎回結果に差が出ます。自然が相手ですので、同じ釣り方で毎回同じ釣果が得られる訳ではないのですが、たくさん釣れるには、何か条件があると思い今回発表の題材とさせていただきます。

では、釣れる条件とは何でしょうか？

私が考えられる限りではありますが、以下の 3 点が挙げられます。

- ・日の出、日の入りの前後 1 時間(マヅメ)
- ・晴天よりも悪天候時(曇天や小雨)
- ・水に濁りがある

この中から今回は、晴天よりも曇天または小雨の方が釣れるのではないかと仮説を立てて関連性を調べることにしました。

調べた事をまとめると下記になります。

- ・4 月:開催日にかけて水温上昇すると釣れるかも？
- ・9 月:降雨による水温低下が必要か？
- ・10 月:あまり関連性が見られない

→結論:雨が降った方が、よく釣れるかも・・・

ある程度の関連性はあるそうでしたが、断言できるほどではありませんでした。

それでも、夏の高水温時は降雨による水温低下があると

釣果が望めそうな事が分かっただけでも調べた甲斐がありました。

2026.1.31 追記

参加者 1 人あたりの駆除重量と降水量の関係を調べたところ

大会 2 日前から当日の合計降水量が 60mm 以上ある場合

駆除量が伸びる傾向があることが分かりました。

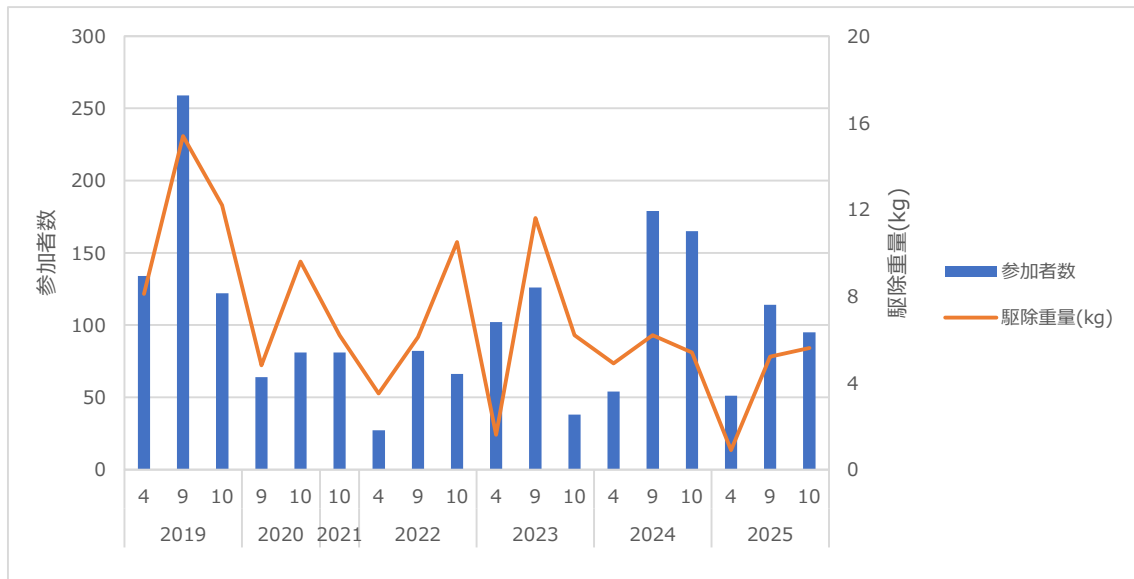


図-1 参加者数と駆除重量の関係

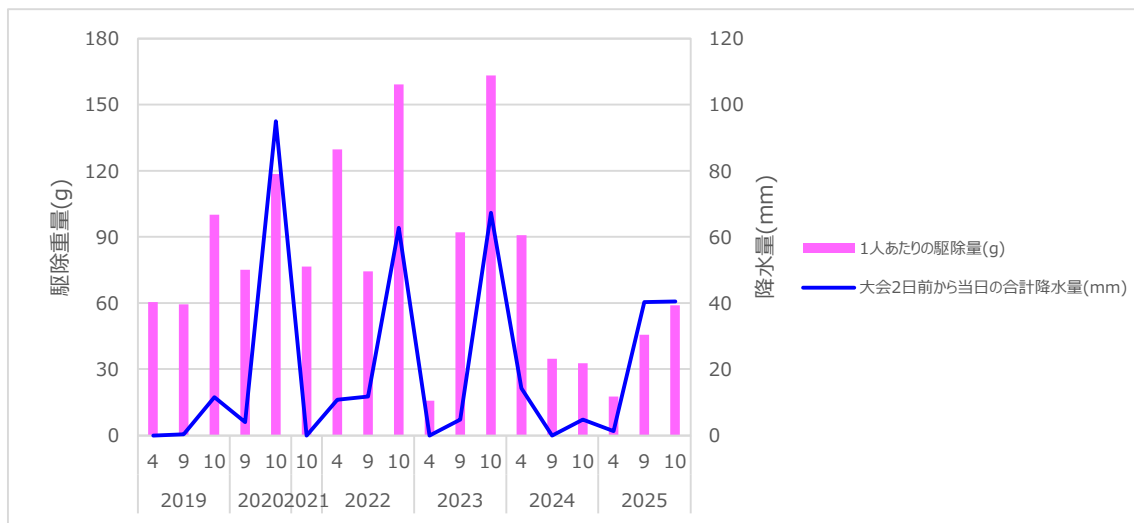


図-2 参加者1人あたりの駆除重量と降水量の関係